

クラス番号	324	担当教員名	中村 強士
		他専修学生受入上限人数	0名
テーマ	“子どもとつくる”子どもの居場所づくり		
著書・論文	【著書】『保育ソーシャルワークの思想と理論』（共著）晃洋書房、2018年 『子どもの貧困対策と教育支援』（共著）、明石書店、2017年 『貧困と保育』（共著）かもがわ出版、2016年		
研究課題等	【研究課題】 1. 保育・子育て支援政策のあり方に関する研究 2. 「乳幼児期の子どもの貧困」と保育ソーシャルワークに関する研究 3. 子どもの権利にねざした子どもの居場所づくりに関する研究		

ゼミナール概要

キーワード：子どもの居場所、子どもの権利、

問題意識：

2022年度から内閣官房こども家庭庁設置準備室のもとで「こどもの居場所づくりに関する検討委員会」が設置され、調査研究及び議論を経て、「こどもの居場所づくりに関する調査研究報告書」が翌2023（令和5）年3月に発表された。その後、新設されたこども家庭庁において「こどもの居場所部会」が設置・開催され、2023年度内に「こどもの居場所づくりに関する指針（案）」が年内に閣議決定される予定である。

私は、2019（令和元）年度から「愛知県子どもの居場所づくり推進会議」のメンバーとして、社会福祉協議会や民間支援団体、行政機関20数名のメンバーとともに、「こどもの居場所」、特に「子ども食堂」を増やすための活動や仕組みづくりを県内各地で会議や研修を通じて行ってきた。さらには、「報告書」で「こどもの居場所」と位置づけられた放課後児童クラブや放課後等デイサービス、児童館についても法人役員や職員研修、ゼミ活動などで関わり続けている。これら、家庭や学校とは異なる「第3の居場所」の意義・役割・課題を考える。

- 目標：**
- ①「こどもの居場所」を「こどもの権利」と関わらせて理解する。
 - ②仲間との共同作業を通じて自分を知り、仲間とともに成長する。
 - ③社会人として必要な、＜問題認識→課題発見→解決方法の考察＞のプロセスを経験する。

計画（内容・方法等）：

- 3年次前期：①「こどもの居場所」をめぐる現状と基礎知識を修得します。
②夏休みに実施する「こどもの居場所づくり」に向けた事前準備を行います。
夏休み：一定期間「こどもの居場所」を企画・運営・実施します（フィールドは、東海市内か名古屋市内を予定しています）。
後期：「SW実習」後、卒論計画書を作成し添削指導を受けます。
春休み：卒論を書き始めます（先行研究の分析・考察）。
- 4年次前期：卒論前半（先行研究部分）を終了し、インタビュー調査を実施します。
夏休み：卒業論文を完成させます（就活・実習・受験勉強・バイトなどの両立！）。
後期：ゼミ内で卒論発表会を行い、提出後に専修ごとの卒論発表会に備えます。
※社会福祉士国家試験に合格したいゼミ生を対象に「自主ゼミ」をひらきます。
※ゼミ生の希望のもと、施設見学、コンパ・バーベキュー・パーティーを実施します。

担当教員からのメッセージ



私は、保育、子育て支援、学童保育（放課後児童クラブ）、放課後等デイサービス、児童館、子ども食堂などを中心としたフィールドにかかわり、研究・実践活動を続けています。ゼミではゼミ生一人ひとりの自主性・主体性を求めています。〇〇を学びたい、〇〇へ見学に行きたい、〇〇をみんなで食べたいなど、積極的に提案する学生を期待しています。

本ゼミを希望する学生は「エントリーシート」に、①本ゼミを希望する理由、②目指す将来像、③趣味・特技、④自己アピール、の以上4点を記入してください。